

SADECOアップサイクルプロジェクト

近年、工場から出る端材・廃棄材をデザインやアートのかで価値のある製品・作品に生まれ変わらせる「アップサイクル」という考え方が広がっています。

公益社団法人埼玉デザイン協議会（略称 SADECO）では平成 26 年から、埼玉県内の工場より端材・廃棄材を提供して頂き、デザイナーやアーティストにより付加価値を与え新しい製品・作品に生まれ変わらせる『SADECO アップサイクルプロジェクト』を行っています。

この活動により工場の端材・廃棄材に価値が生まれ、地域を繋げ、地域を元気にする活力に生まれ変われば、「端材や廃棄材もすてたもんじゃない!？」



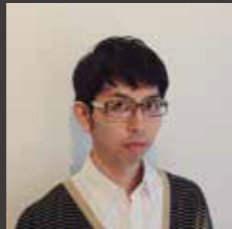
ウォールクロック

コーリアンのカットサンプルを再利用した時計です。50mmx50mmのカットサンプルセットは毎年更新されるため、在庫はその都度廃棄されています。色と針の組み合わせで様々なバリエーション展開が可能です。



otama-tate

オーダーキッチンの制作時に発生する人工大理石の端材を利用したお玉立てです。人工大理石は様々なカラーバリエーションがあり、使用する端材により違った表情を見せてくれます。キッチンのシンク等に使用されている素材なので衛生面でも適しています。置いた時に、お玉が自立しているように見えるトリッキーなデザインが特長です。



勝間田 慎也

プロダクトデザイナー。ICSカレッジオブアーツ非常勤講師。1977年静岡県生まれ。2005年ICSカレッジオブアーツインテリアデザイン科II部卒業。デザイン事務所にてプロダクトデザインに従事後2009年 design studio nayuta 設立。



nozaki furniture design 野崎雄太

椅子を中心に生活にまつわる道具をデザインしています。2008年度「あくらいす」でグッドデザイン賞受賞。埼玉県久喜市総合体育館ロビー用ベンチのデザインを担当。現在は廃造りや植栽管理に関心があり造園について勉強中です。

SADECOアップサイクルプロジェクト協賛企業概要



人工大理石

株式会社 エイペクス

デュボンコーリアン加工・施工、木製品製造
〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎6-10-5
TEL.048-831-6638 FAX.048-832-0290
E-mail: apex1@sea.plala.or.jp



突き板

株式会社 エビハラ

天然木化粧合板や抗菌効果を持つ塗装材製造
〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町2丁目16-1 豊野工業団地内
TEL.048-735-2253(代) FAX.048-735-2437
E-mail: info@kk-ebihara.co.jp



皮革

有限会社 鈴仙

「ワコの鈴仙」爬虫類皮革専門メーカー
〒340-0048 埼玉県草加市原町3-9-12
TEL.048-942-3158 FAX.048-942-2205
E-mail: suzusen@mvh.biglobe.ne.jp



紙管・粘着フィルム

株式会社 デサン

粘着シートフィルムの加工並びに販売、看板の製作並びに販売
〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町4-140
TEL.048-651-1881 FAX.048-664-7276
E-mail: honsha@dessin.co.jp



木材

有限会社 星亀木工所

椅子のことなら星亀椅子工房。特注品、サンプル、ロット生産
〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川1986
TEL.048-683-5269 FAX.48-686-1590
E-mail: info@hoshikame.com

SADECO



UPCYCLE PROJECT

すてたもんじゃないデザイン展

SADECOアップサイクルプロジェクト

2015年12月3日(木)～12月6日(日) 10:00～20:00 ※最終日は18:00まで

小江戸蔵里 展示蔵

主催 公益社団法人 埼玉デザイン協議会

〒333-0844 埼玉県川口市上青木3-12-18 埼玉県産業技術総合センター 706-B号室

TEL: 048-261-2430(水曜日・金曜日9:00～12:00) FAX: 048-261-2438

E-mail: info@sadeco1.com <http://www.sadeco1.com>





紙管コードケース

部屋の中を見渡すと家電製品であふれています。これらの家電からでるコードは机の裏や机の上を煩雑にしています。これまで紙管はその用途が終わると廃棄されていた紙管を使用し、その高い剛性と素朴な質感を利用したコードケースを作りました。このコードケースは寝かせて使用することは勿論、立てて使用することができるため、様々な場面で活躍します。



木のうちわ

木を薄くスライスした突き板の端材と木製家具製作の過程で出る木片を使用。1枚と同じ木目がない天然木の突き板と無垢材を使った自立するうちわ。夏以外はインテリアとしてしつらえることで天然の木を楽しめます。



キノミ

小さな草花を挿すと、木の実から芽生えたようになる花器です。デスクや棚の上など、ちょっとした場所に気軽に活けることができます。

家具工房の端材から生まれたキノミは新しい命を育みます。



コーリアントレイ

人工大理石であるコーリアンを見たとき、その美しさに余計なデザインを入れるのではなく、この素材の美しさそのまま伝えたいと感じた。最小限の加工のみとすることで、様々な用途に使うことができるシンプルなトレイが生まれた。高い耐熱性・耐候性・耐衝撃性をもつトレイ。それは水周りからダイニング、食事まで幅広い用途に適応する。



菊地 俊孝

1977年生まれ。ICSカレッジオブアーツ卒業。主にグラフィック、プロダクト等各種デザインを行う。販売促進等福祉施設作業所のデザインレベル向上の活動、農業経営デザインディレクションを行う。公益社団法人埼玉デザイン協議会理事。



江口 勲

家具デザイナー。ICSカレッジオブアーツ、女子美術大学短期大学部、非常勤講師。武蔵野美術大学客員研究員。公益社団法人埼玉デザイン協議会理事。地域活性化デザイン委員会委員長。エグチデザインスタジオwww.eguchi-ds.com



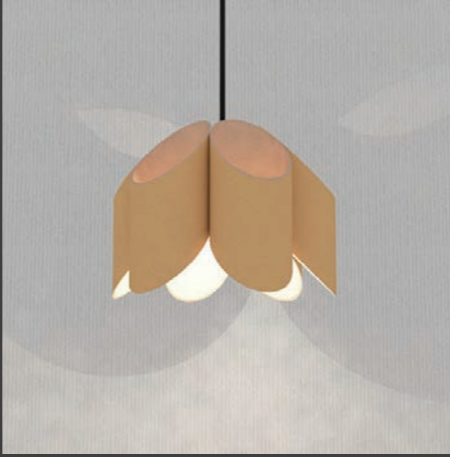
中島 保久

1977年東京生まれ。家具工房にて木製家具を学んだ後、セキデザインスタジオを経て、2012年 DOOGS DESIGN設立。インテリアと家具のデザインを中心に活動中。2012年エステールデザインアワード 入賞。2013年富山プロダクトデザインコンペ入賞。2013年木のデザイン公募展大賞。



SOL style

建築、インテリアからプロダクトまで「FUN&FUNCTION」をキーワードに、求めるもの・形にできない想いを「在り方」からデザインする。世界各国のバリオンのクリエイティブディレクションから会場デザイン、KAWASAKIやFIATの空間デザイン、国内外展示会の招待出展、講演まで多岐にわたり活躍。



シェード

斜めにカットした紙管を用いたシェードです。紙特有の質感と柔らかな反射光で優しく周囲を照らします。上部穴から覗く光のグラデーションも特徴的です。頻繁に触ることはないの紙であっても傷まず長く使用できます。



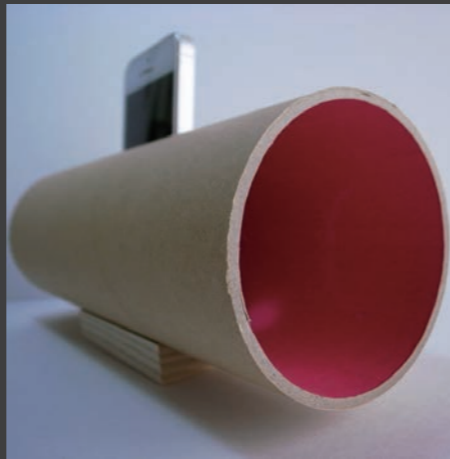
敷折々ーしきおりおりー

折り紙のようにランチバックに変化する屋外用のクッションです。保温性、クッション性のあるエアークッション(プチプチ)をカッティングシートの端材で挟み貼り合わせることで、水や汚れにも強い屋外使用に適したものができないかと考えました。お昼休みの外でのランチ、休日のピクニック、お花見や紅葉といったシーズンに、四季折々 お弁当のシーンで活躍します。



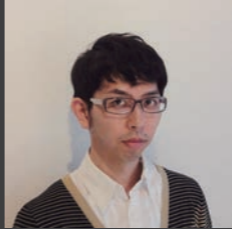
消火器ボックス

コーリアンの耐久性、耐候性等の性質から公共施設等で使用する消火器ボックスにしました。コーリアンの曲線の美しさにより、無骨になりがちな消火器ボックスをよりスマートにし、消火器を保護します。



スマートフォン用メガホン

粘着シートの端材、粘着シートが巻かれていた紙管と木製家具製作の過程で出る木片を使用。スマートフォンを差し立てるだけで、電気を使わずに音を紙管が増幅し、音楽などを皆で楽しめます。



勝間田 慎也

プロダクトデザイナー。ICSカレッジオブアーツ非常勤講師。1977年静岡県生まれ。2005年ICSカレッジオブアーツインテリアデザイン科II部卒業。デザイン事務所にてプロダクトデザインに従事後2009年 design studio nayuta 設立。



中島 保久

1977年東京生まれ。家具工房にて木製家具を学んだ後、セキデザインスタジオを経て、2012年 DOOGS DESIGN設立。インテリアと家具のデザインを中心に活動中。2012年エステールデザインアワード 入賞。2013年富山プロダクトデザインコンペ入賞。2013年木のデザイン公募展大賞。



菊地 俊孝

1977年生まれ。ICSカレッジオブアーツ卒業。主にグラフィック、プロダクト等各種デザインを行う。販売促進等福祉施設作業所のデザインレベル向上の活動、農業経営デザインディレクションを行う。公益社団法人埼玉デザイン協議会理事。



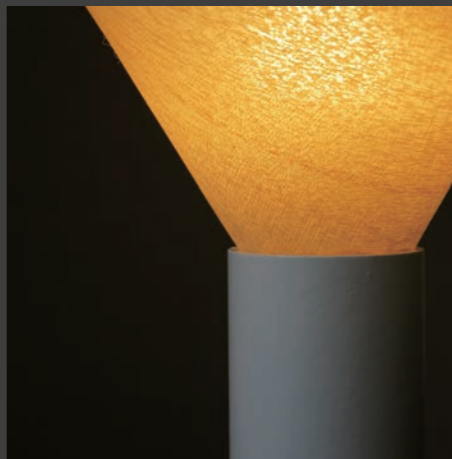
江口 勲

家具デザイナー。ICSカレッジオブアーツ、女子美術大学短期大学部、非常勤講師。武蔵野美術大学客員研究員。公益社団法人埼玉デザイン協議会理事。地域活性化デザイン委員会委員長。エグチデザインスタジオwww.eguchi-ds.com



髭メガネおやじトートバック

株式会社デサンさんからカッティングシートの端材を分けて頂いた時、様々なカタチの切れ端が、モザイクのように面白いなと思いました。これまでに色々なタッチで描いてきた「髭メガネおやじ」のモチーフにも活かせないだろうか…そう考えて取り組んでいるのが、キャンパス地のトートバックやスリッポンの手描きデザインです。貼りつけたカッティングシートの上から、思いのままアクリル絵の具を塗り重ねて、気が済んだ頃、そっとシートを剥がすと…現れた色合いや不思議な模様にも、心が躍る瞬間です。



フロアスタンドライト

廃棄物となるフィルムの芯であった紙管を、そのフィルムを巻いて再利用することでその時点で製品として提供できることを第一に考え、また大きな製品とすることが高価格帯の商品としやすいために紙管を切断しないでそのまま使うことを考えた製品としてフロアスタンドライトにすることにしました。紙管をそのままボールとして利用、透明フィルムを裏打ちした天然木の突板をランプシェードとし、木材をベース部分に利用し、シンプルで木目を活かした温かみのあるフロアスタンドライトとなるようにデザインしました。



HOZO

家具製作の過程で出る様々な種類の木材の端材を使用し、木材の表情を楽しめるプレートです。障害者施設での生産、自立支援を目的とし、直線で切るという簡単な製法で実現しました。名前の由来であるほぞとは、木材家具の製作の接合部で用いられる仕組みであり、今回このプレートでは二枚の板を重ねることでその技法を表現し他のプレートとの組み合わせを可能にしています。組み合わせることでより様々なサイズのプレートができ、人が多く集まるシーンなどではその時必要なサイズのプレートがすぐに用意できます。



道標

交通標識になれなかったカッティングシートがピアスに生まれ変わりました。カッティングシートは交通標識やお店の看板によく使われていますが、文字や形を切り抜くので捨てる部分が多くてしまいます。その捨てられるはずだったカッティングシートの裏面が銀色で、金属のように美しいと感じたので素材感を活かしたシンプルなピアスに仕上げました。道路の道しるべにはなれなかったカッティングシートですが、ピアスに生まれ変わったことで大量消費の次の新しい時代を照らす道しるべになりますように。



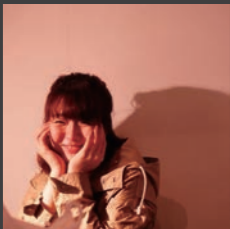
ヤマダ ジュンヤ

「多機能型事業所わくわくす」にて、アート活動を収益につなげる取り組み「アートワークゆめいろ」に参加している。「メンタルは弱いけど、ハートは強い」をキャッチフレーズに、「創りがねおやじ」のモチーフでアートグッズの制作や、似顔絵パフォーマンスを行っている。



黒田 功

デザインプロデューサー（一級建築士）。埼玉県東松山市生まれ寄居町在住。住宅設計、店舗設計、家具等のトータルデザインを中心に、ものづくり、まちづくり支援等幅広く活動を行っている。公益社団法人埼玉デザイン協議会理事、埼玉新産業ストラテジーフォーラム会員、埼玉県技術アドバイザー、埼玉県商業振興関係派遣専門家。



中田 香

1992年8月8日生まれ。多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻在学中。埼玉生まれ埼玉育ち。片道2時間30分をかけて通学するくらい埼玉が好きです。(笑)課題に追われながらも毎日楽しく過ごしてます。



Kino.Q 紀 理有子

1991年生まれ。2013年女子美術大学芸術学部デザイン学科プロダクトデザイン専攻卒業。2013年7月に「映画のように物語のある商品」をコンセプトに、全国の文房具屋・書店などにシックな雑貨を卸すメーカー「Kino.Q」を設立。